

# 見つけて！ 広げて！ 接GOOD!

よい接遇を見つけるキャンペーン「見つけて！ 広げて！ 接GOOD」では  
たくさんのご投稿をいただきまして、誠にありがとうございました。  
ここで、みなさまからいただいた「接GOOD」をいくつかご紹介いたします。

外来、病棟で職員が患者さんにあいさつをしたり、積極的に声をかけているところを目にし、「いいな」と思います。

お風呂のとき、足のくるぶしや裏がどうしても洗いづらくて困っていたのですが、何も言っていないのに、看護師さんが指でこすってくれました。こういったかゆいところに手が届くような行為に感動しちゃいました。  
(一部抜粋)

リハビリ前半は、マッサージに大半を費やしております。週明け、冷え込みの強い朝などは、筋肉が硬直しておりますので、大変効果的です。担当指導者(療法士)は、スマイルのまま「皆さんのことを思ってやっています」と謙虚誠実です。  
(一部抜粋)

診察からお会計までスムーズに早くできます。他の医療機関ではないことです。

また、先生をはじめとして、受付の方、会計の方など、みなさん親切にテキパキとされていて、気持ちよく病院をあとにすることができます。

どうしたら痛みがなくなるのかな、どうしたら一人で起きあがれるのかな、どうしたら夜のトイレに行けるのかな・・・などなど

患者さん一人一人の状況に合わせた安全で安楽な方法を導き出す一つ一つのことを患者さんに寄り添う看護とチームワーク、素敵だと思います。

このほかにも「笑顔がよい」「明るい」「丁寧である」などのご意見を多数いただきました。

病院職員全体へ回覧するとともに、記載していただいた部門や個人へも直接、伝えさせていただきました。

これからも、私たち職員一同、よりよい接遇を行っていけるよう、日々精進いたします。

2014年12月サービス向上委員会

